



# 平成20年度 当初予算のあらまし

岡山県  
(平成20年2月)

# ◆ 目 次

一般会計当初予算の規模 .....	1
予算編成の基本方針 .....	1
当初予算額の推移 .....	1
歳出予算の概要 .....	2
①歳出予算の内訳	
②歳出予算の推移	
歳入予算の概要 .....	4
①歳入予算の内訳	
②歳入予算の推移	
③県税の推移	
④県税・地方交付税等の推移	
県民1人あたりの歳出・歳入予算 .....	6
行財政改革への取組 .....	7
収支の状況と財政見通し .....	8
①平成20年度における収支の状況	
②当面の財政見通し	
財政指標の推移 .....	10
①実質公債費比率・起債制限比率の推移	
②県債残高の推移	
平成20年度の主な事業 .....	11
おかやま夢づくりカレンダー .....	28



## 一般会計当初予算の規模

一般会計 約 6,839 億円 (対前年度比▲103 億円、▲1.5%)

特別会計 約 2,740 億円 (対前年比+113 億円、+4.3%)

企業会計 約 128 億円 (対前年比 ▲20 億円▲13.8%)

※「一般会計」と「特別会計」

一般会計とは、県の基本的な経費を経理する会計で、会計の中心をなすものです。また、特別会計とは、特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計と区別して経理をするための会計で、岡山県では母子寡婦福祉資金貸付金特別会計や後樂園特別会計など全部で18の特別会計があります。



## 予算編成の基本方針

### ➤「快適生活県おかやま」の実現

事業の選択と集中をより一層加速させ、本県の発展にとって必要性・緊急性の高い施策は積極的に推進し、21世紀の夢と希望にあふれる「快適生活県おかやま」を実現します。

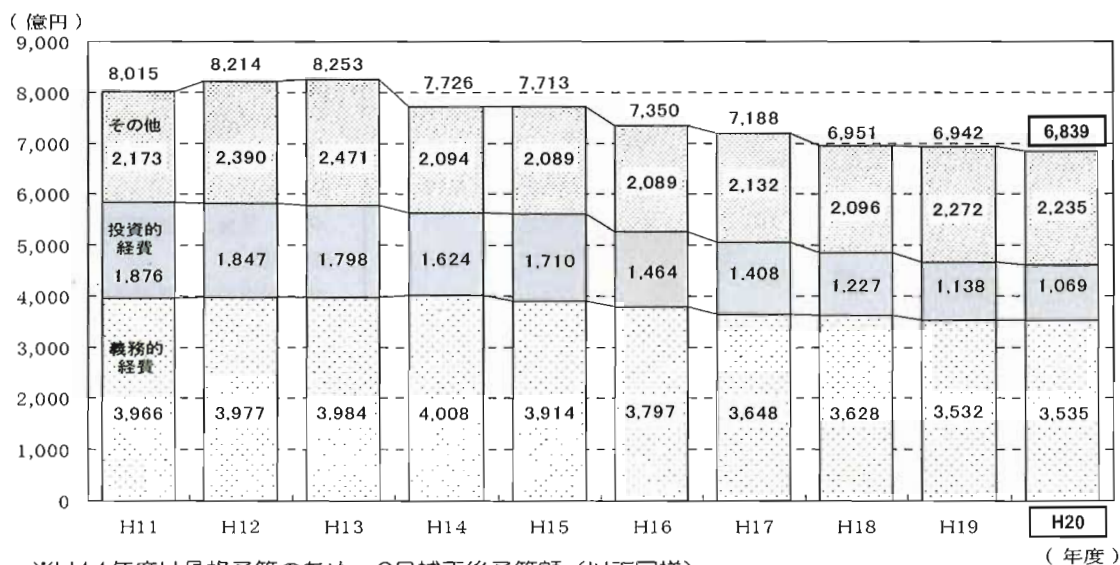
### ➤行財政改革の着実な実施

厳しい財政状況を踏まえ、改訂第3次行財政改革大綱（平成17年12月策定）に基づき、着実な歳出の削減に取り組みます。



## 当初予算額の推移

➤一般会計当初予算は、平成14年度以降、7年連続の減となっています。



※H11年度は骨格予算のため、6月補正後予算額（以下同様）

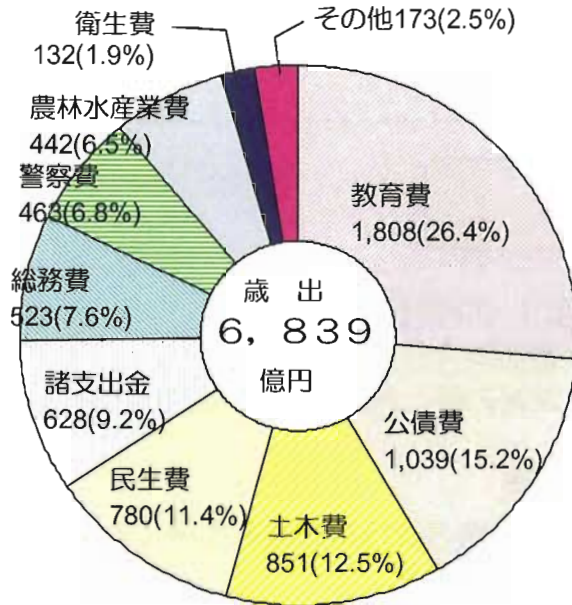


# 歳出予算の概要

## ①歳出予算の内訳

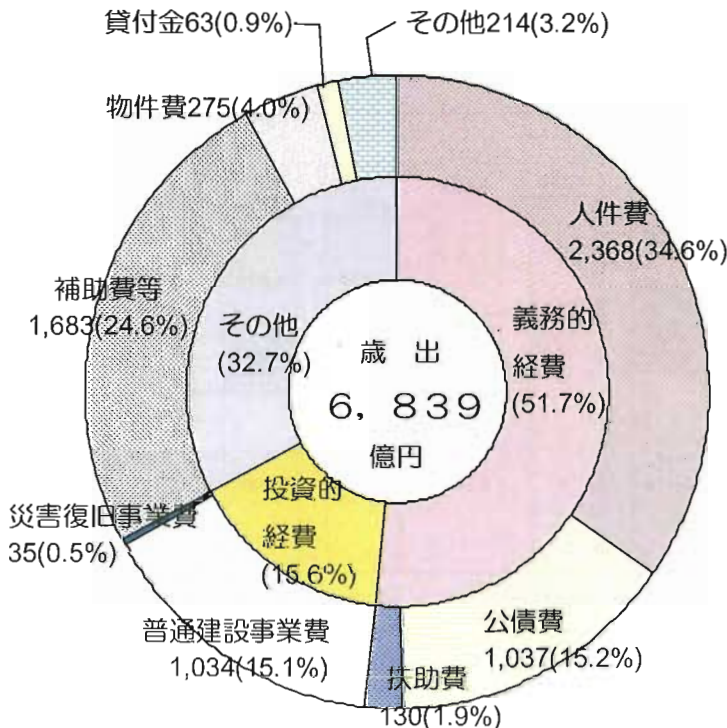
[目的別] (経費を教育関係や民生関係などのように行政目的に応じて区分するもの)

➤目的別の内訳では、教育費が26.4%と最も高い割合となっており、次に県の借金の返済に係る経費である公債費が15.2%となっています。



[性質別] (経費を経済的機能によって区分するもの)

➤性質別の内訳では、人件費が34.6%と最も多く、これに公債費、扶助費をあわせた義務的経費で全体の半分以上 (51.7%) となっています。



### ～用語の説明～

#### 《人件費》

県職員の給与等に要する経費です。

※県全体の職員数 25,758人 (H19.4.1現在)

知事部局等 4,759人 教育委員会 17,079人

警察本部 3,920人

#### 《公債費》

県債(借金)の返済に要する経費です。

#### 《扶助費》

生活保護や児童扶養手当など、社会保障の一環として、児童、高齢者、生活困窮の人などを援助するための経費です。

#### 《補助費》

市町村や個人、団体に対する負担金、補助及び交付金などの経費です。社会保障関係の経費も市町村への負担金等はここに含まれます。

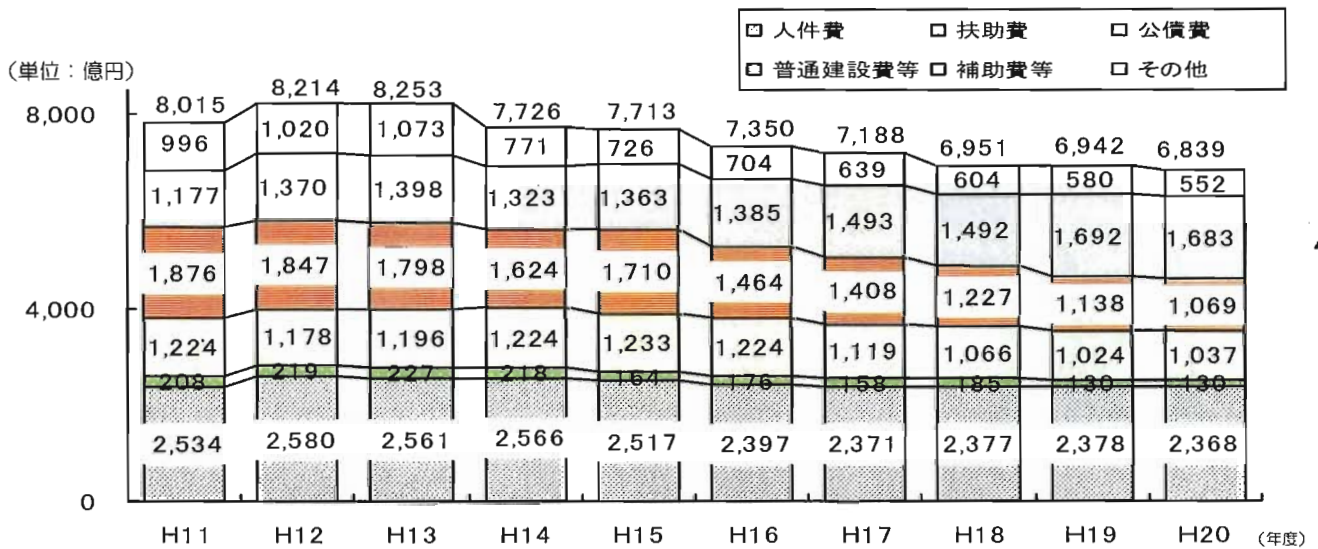
#### 《物件費》

光熱水費、旅費、賃金、備品購入費などの経費です。

## ②歳出予算の推移

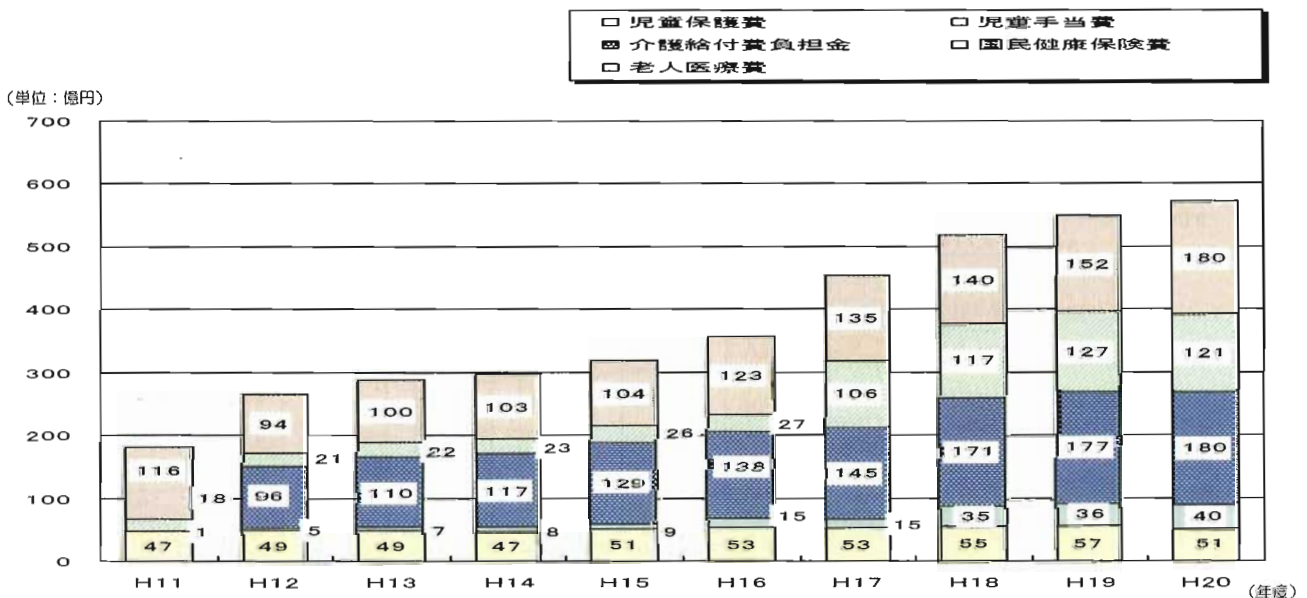
▶行財政改革に取り組む中で、普通建設事業費等が減少する一方、社会保障関係経費の増により、補助費等が増加しています。

▶人件費は、定員削減等により職員給与は減少していますが、退職者の増により、ほぼ横ばいです。



### (参考) 主な社会保障関係経費の推移

▶予算全体としては減少傾向にある中で、社会保障関係経費は、医療費の増等により、ここ数年で大きく増加しています。



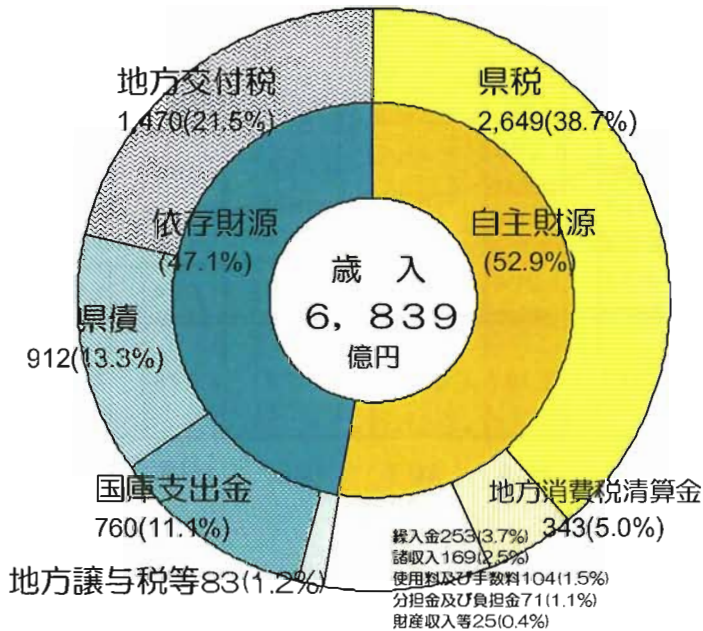
※H20年度の老人医療費には、後期高齢者医療費制度（H20年度新設）を含んでいます。



## 歳入予算の概要

### ①歳入予算の内訳

- 歳入の中では、県税が最も高い割合（38.7%）となっており、次に地方交付税（21.5%）となっています。
- 県が自主的に収入できる自主財源が52.9%と、国からの補助金のように使途が決まっている依存財源より高い割合となっています。



#### ～用語の説明～

##### 《地方交付税》

一定の行政サービスの提供を保障するため、国税の一定割合を財源として一定の基準によって地方へ交付するもので、いわば国が地方に代わって徴収する地方税です。

##### 《国庫支出金》

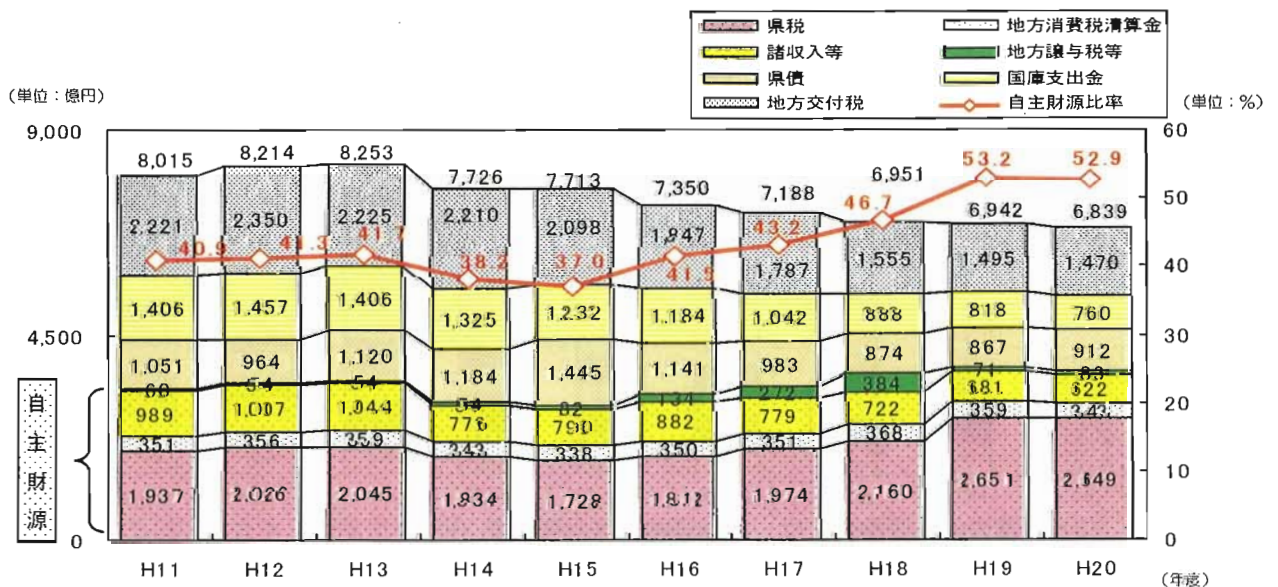
国が使い道を指定して交付する補助金や負担金です。

##### 《地方譲与税等》

特定の国税収入が一定の基準で配分されたものです。

### ②歳入予算の推移

- 景気の回復と税源移譲による県税収入の増加に伴い自主財源比率は平成15年度から増加傾向となり、平成19年度からは50%を超えています。



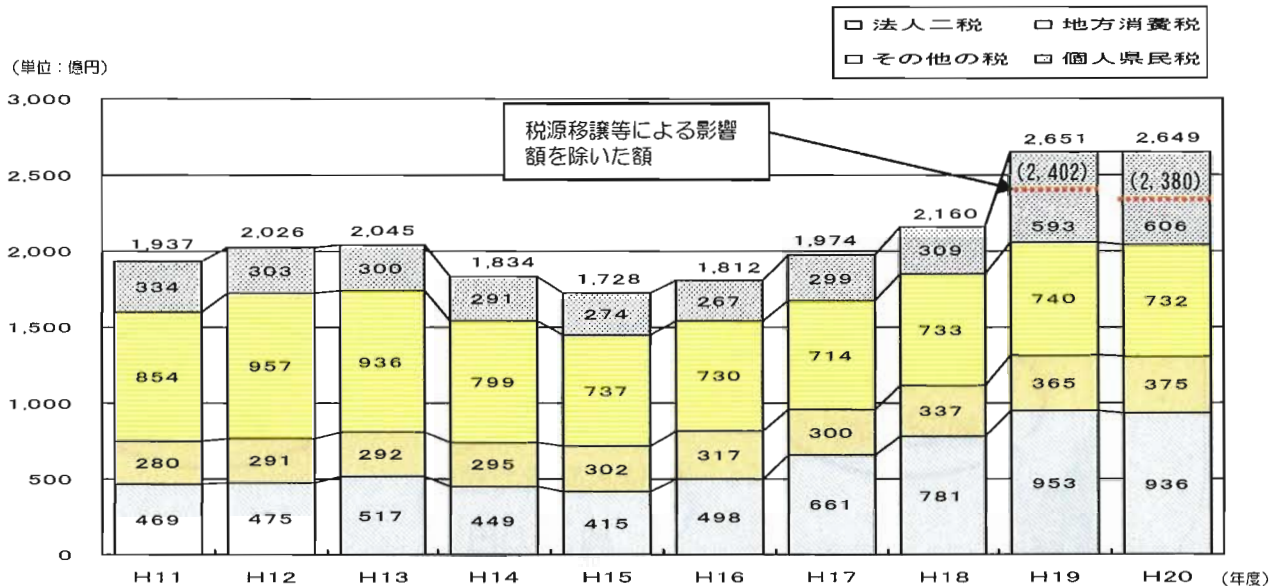
### ③県税の推移

▶県税収入は、ここ数年次のような要因により増加してきました。

- ・景気の回復による法人二税（法人事業税、法人県民税）の増
- ・三位一体の改革による国税（所得税）から地方税（住民税）への税源移譲（H19年度）

▶平成20年度の税収は、企業の景況感が原油・原材料の高騰の影響を受けて鈍化しているなどを踏まえ、平成19年度とほぼ同程度を見込んでいます。

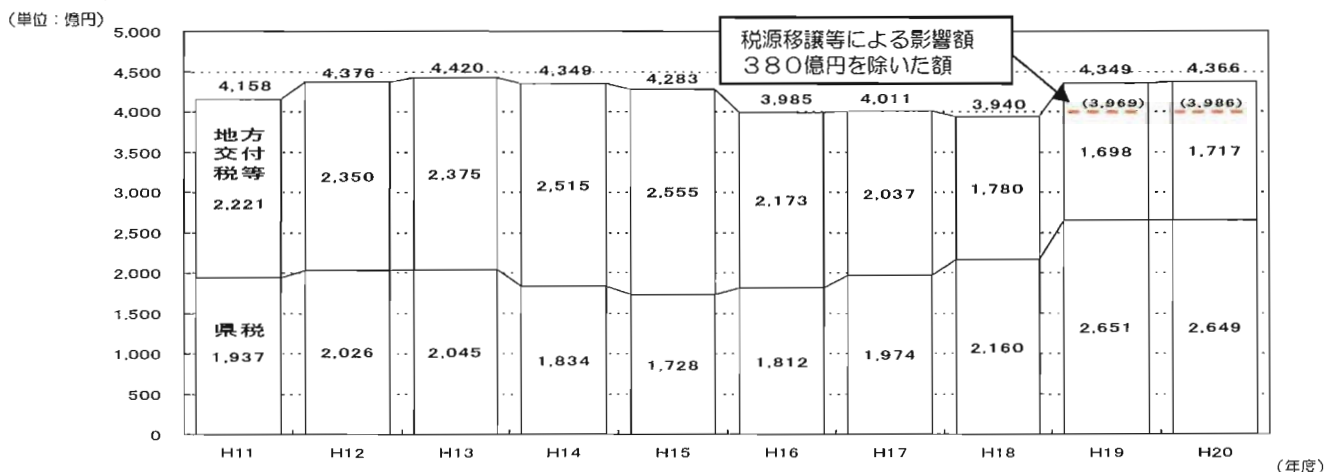
※三位一体の改革とは、国の関与を縮小し、地方の権限・責任を拡大して、地方分権を一層推進することを目指し、国庫補助負担金改革、税源移譲、地方交付税の見直しの3つを一体として行う改革です。



### ④県税・地方交付税等の推移

▶一般財源の主な項目である県税と地方交付税等をあわせた額は、前年度と比べ微増となっています。

▶しかし、平成16年度に国の一方的な地方交付税の削減により約300億円減少しており、今回もその後の抑制傾向自体は変わっておらず、税源移譲の影響を除いた実質的な額では、依然として平成15年度の水準を大幅に下回る状況となっています。



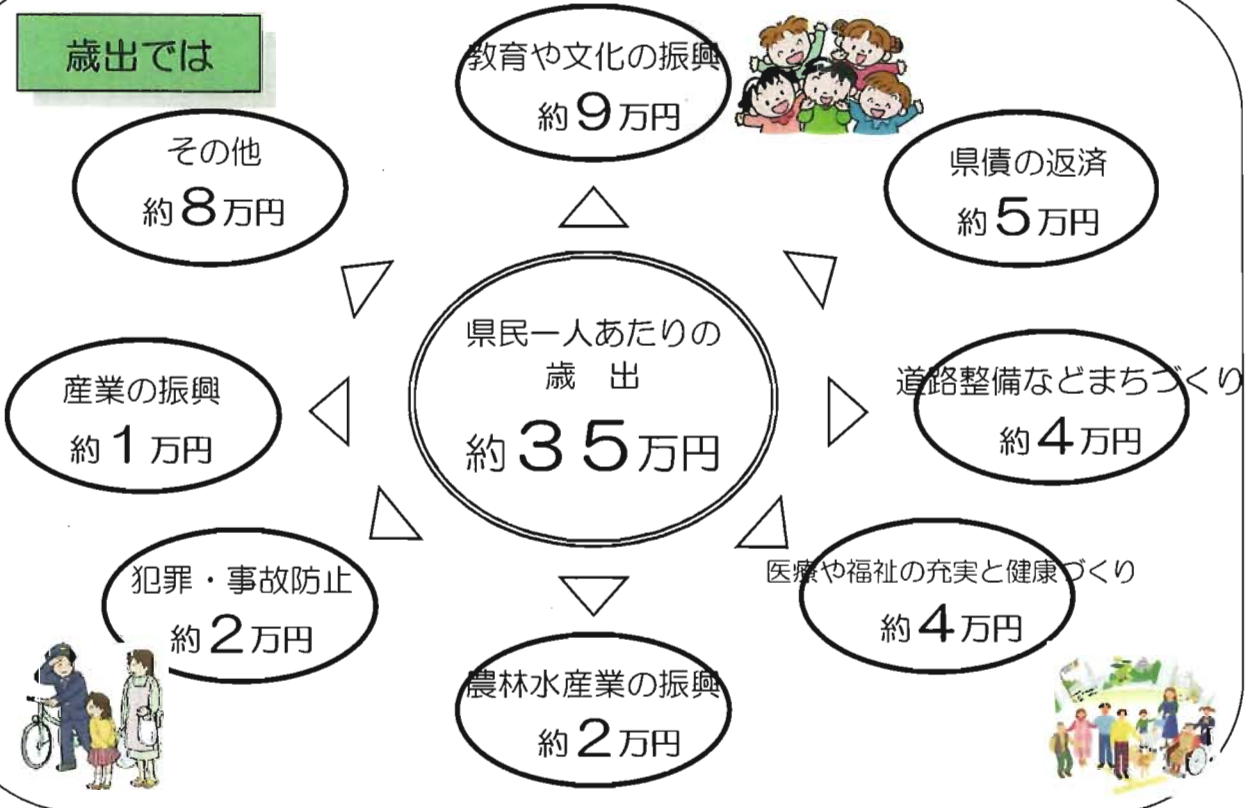
※地方交付税等：地方交付税＋臨時財政対策債

※三位一体の改革による税源移譲による制度改正の影響等により、H19に県税・地方交付税等が約380億円増加しているが、これは歳出の増に合わせたものであり、実質的な増にはつながっていない。

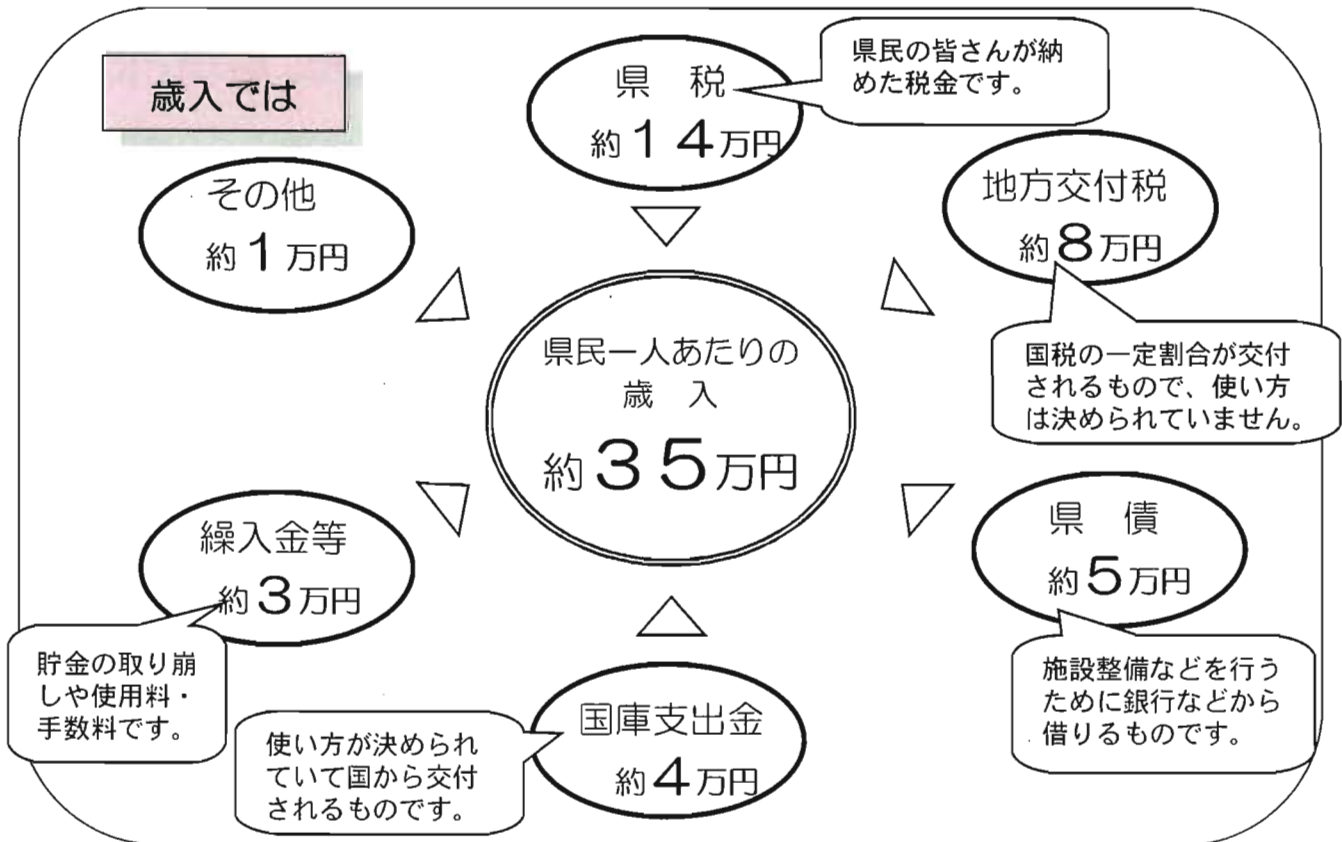


# 県民1人当たりの歳出・歳入予算

## 歳出では



## 歳入では







## 行財政改革への取組

▶平成17年12月に策定した改訂第3次岡山県行財政改革大綱に基づき、着実な行財政改革を推進しています。

### 平成20年度予算における歳出削減の取組

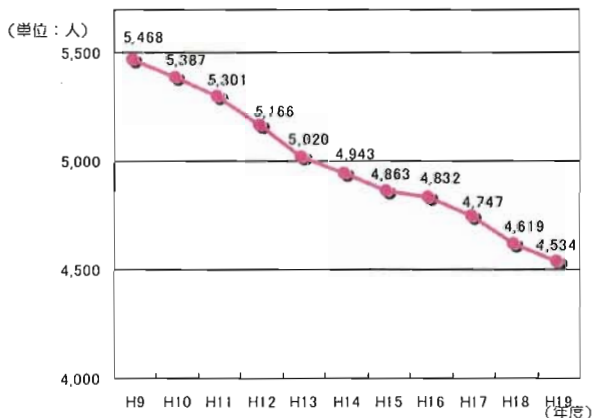
	<平成19年度予算>	<平成20年度予算>	<一般財源削減効果額>
○公共事業の削減	738億円	658億円 (▲80億円)	▲3億円
○一般施策の削減	848億円	835億円 (▲13億円)	▲13億円
○内部管理経費の削減			▲6億円
○独自の給与カット			▲48億円
○定員削減			▲5億円
<一般財源削減効果額 計 >			▲75億円

### <参考>改訂第3次岡山県行財政改革大綱（推進期間：平成16～21年度）の内容

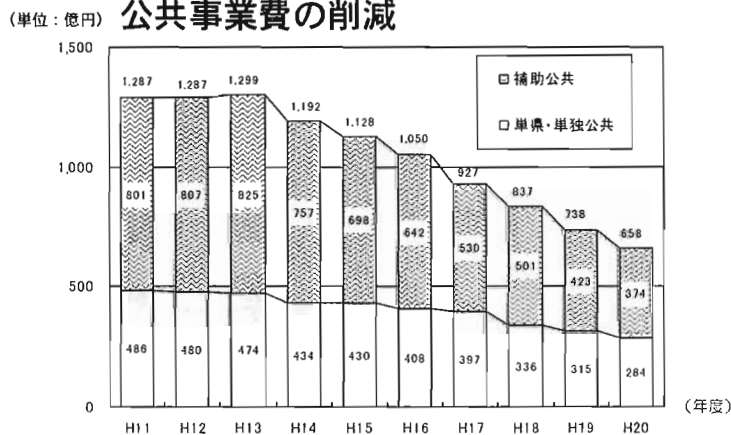
- 推進期間：H16年度～21年度
- 総定員の見直し：5年間（H17.4.1～H22.4.1）で1,400人（5.6%）程度削減
- 公共事業にかかる地方負担額の削減：16～18年度までの3年間で15年度当初予算比30%程度削減  
19～21年度までの3年間で18年度当初予算比30%程度削減
- 一般行政施策費の削減：16～18年度までの3年間で15年度当初予算比10%程度削減  
19～21年度までの3年間で18年度当初予算比10%程度削減
- 人件費の削減：H16～21年度の6年間、給料、期末・勤勉手当を一般の職員2.8%～部長・次長級6.0%の平均3%の独自の給与カット等による人件費の削減

### ◆これまでの行革の取組状況

#### 定員の推移（一般行政職）



#### 公共事業費の削減



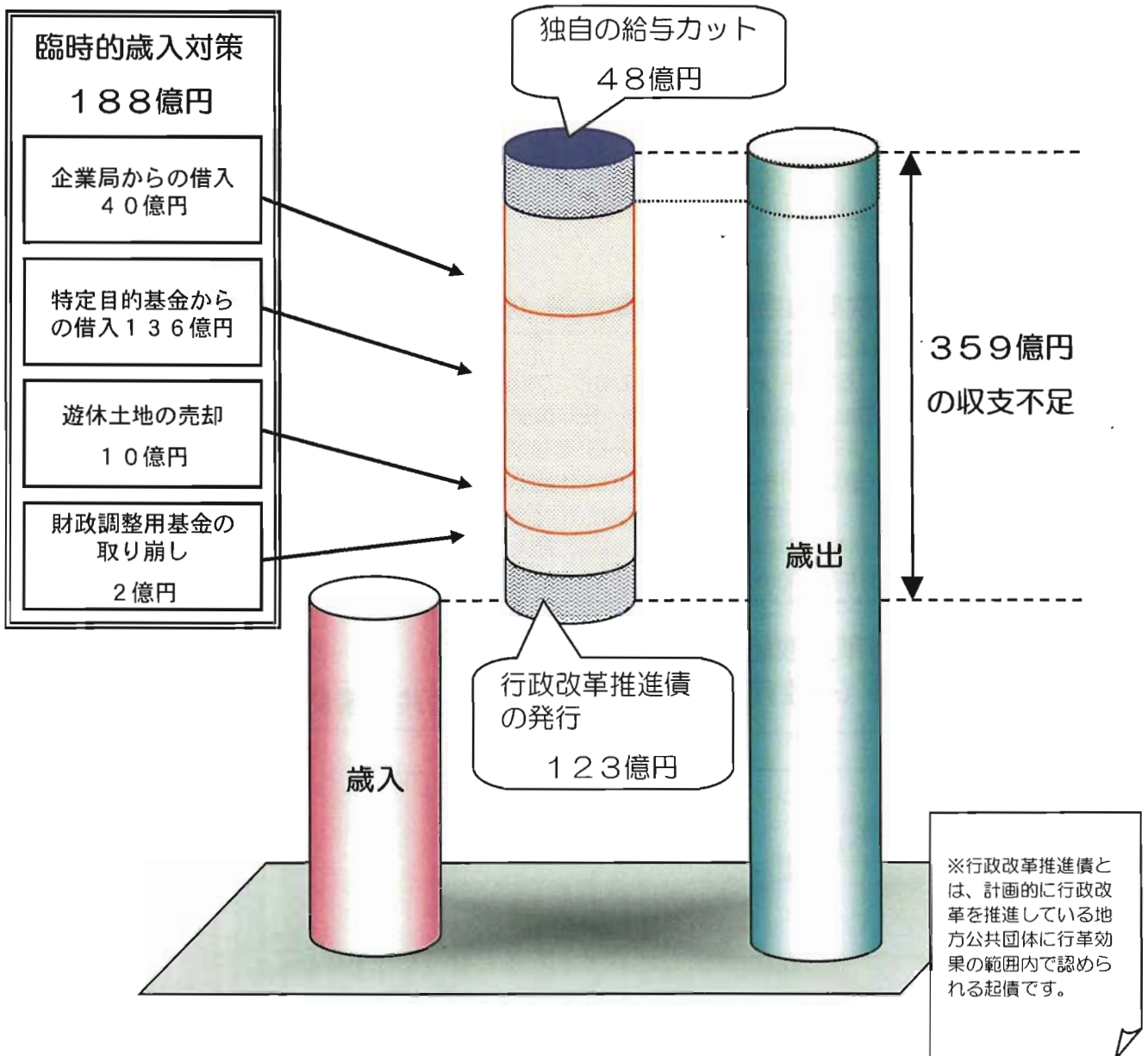
※補助事業には国直轄事業負担金及び災害復旧事業を含まない。  
また、交付金事業は単独事業に分類している。



## 収支の状況と財政見通し

### ①平成20年度における収支の状況

▶平成20年度予算においては、通常ベースの歳出歳入では、359億円の収支不足（歳出超）の状況にあり、行政改革推進債(※)の発行や独自の給与カットを行った上で、なお不足する額については、特定目的基金や企業局からの借入等の臨時的な歳入対策を行うことにより、予算を編成しています。



## ②当面の財政見通し

▶平成20年度当初予算をベースに、歳出の見直しや国による名目経済成長率の見通し等を踏まえて21年度以降の収支を試算すると、次の表のとおりです。

(単位：億円)

		H 2 0	H 2 1	H 2 2
歳入歳出差引収支	A	△359	△294	△277
独自の給与カット効果額	B	48	48	
行革推進債発行効果額	C	123	109	109
A + B + C		△188	△137	△168

平成21年度以降の見通しでは、収支不足額は、21年度には294億円、22年度には277億円と、縮小の傾向にあるものの、引き続きに大きな額が見込まれています。

### ○試算の主な前提条件

次の前提条件で試算した上で、改訂第3次行財政改革大綱による効果額及び岡山市の政令市移行に伴う影響額（県市連絡会議(H19.1.1)における試算額）を反映。

#### 【歳入】

県税：H20当初予算をベースに、名目経済成長率に弾性値(1.1)を乗じた伸率で試算。制度改正を加味

名目経済成長率 H20：2.1%、H21：2.5%（参考：日本経済の進路と戦略（内閣府参考試算））

地方交付税：H20当初予算をベースに試算

#### 【歳出】

人件費：給与改定率0.5%、平均昇給率0.3%

公債費：新規借入利率2.0%

扶助費：H20当初予算をベースに、過去の実績等を勘案して試算

普通建設事業費：H20当初予算と同額で試算、ただし県庁耐震改修、防災情報ネットワーク等は個別に積算

補助費等：介護保険等は、H20当初予算をベースに、過去の実績等を勘案して試算

▶【参考】名目経済成長率を0%とした場合の試算

(単位：億円)

		H 2 0	H 2 1	H 2 2
歳入歳出差引収支		△359	△304	△298

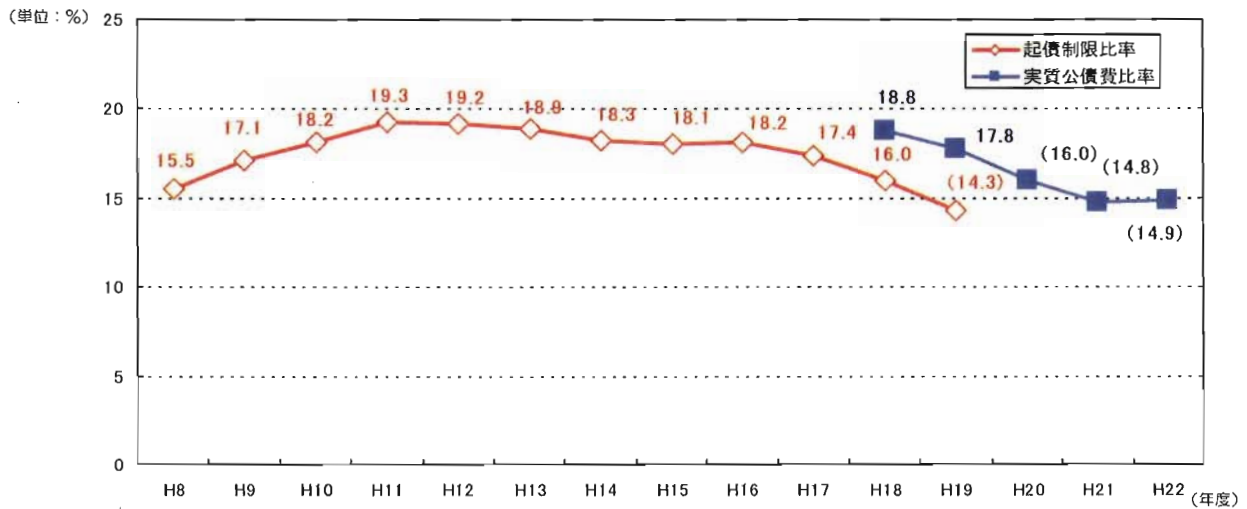
名目経済成長率を0%とした場合には、税収が伸びないこととなり、収支が幾分悪化することになります。



## 財政指標の推移

### ①実質公債費比率・起債制限比率の推移

➤公債費の負担を表す指標は、これまでの行革の取組で起債を抑制してきた効果により改善傾向にあります。



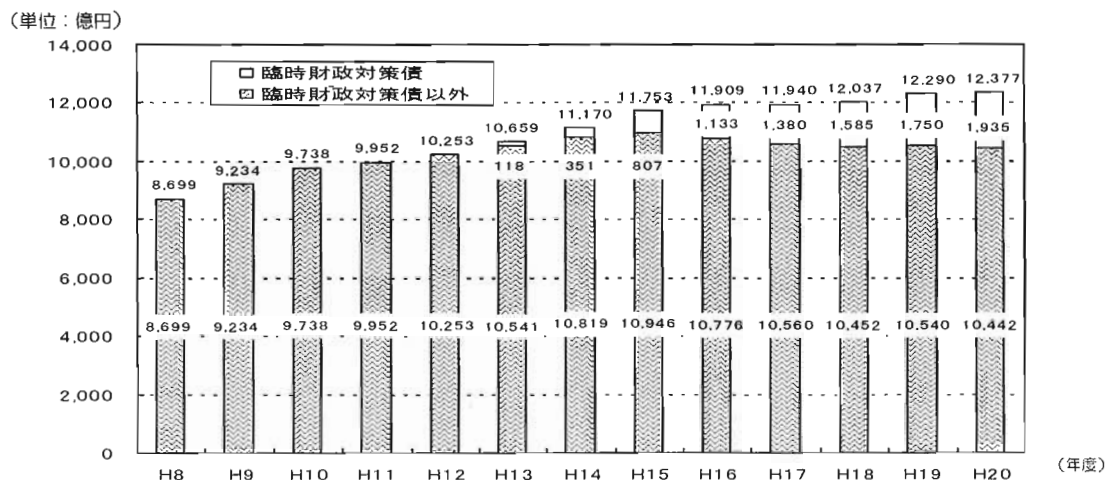
※ ( ) 書きは、見込み数値です。

※「実質公債費比率」とは、公債費による実質的な財政負担の程度を示す指標です。実質公債費比率が18%以上の団体については、地方債を発行するためには、国の許可が必要になり、また、25%以上の団体については、比率の区分に応じて、借金を行うことに制限を受けます。

### ②県債残高の推移

➤平成20年度末の県債残高は1兆2,377億円と見込まれており、県民1人当たりでは約63万円となります。

➤平成19年度末の見込みより増加する見込みとなっていますが、このうち臨時財政対策債は地方交付税の振替として発行されるもので、後年度地方交付税により全額措置されるものであり、この臨時財政対策債等を除いた実質的な県債残高のベースでは、前年度に比べ減少しています。





## 平成20年度の主な事業



「新おかやま夢づくりプラン」を推進し、「快適生活県おかやま」を実現していくため、平成20年度における県政推進に当たっての重点的な推進方向を示すものとして策定した「平成20年度政策重点指針」に基づいて、必要性や緊急性の高い施策に重点的に取り組めます。

### 《平成20年度政策重点指針関連事業》

#### 【新おかやま夢づくりプランの基本戦略ごとの政策の推進】

(うち重点化事業)

##### <「教育と人づくりの岡山」の創造>

**I 子どもを生き育てる環境づくりと人づくり** **56億円** (15億円)

▶子育て家庭の不安を解消します。 **37億円** (7億円)

▶確かな学力の向上など教育に力を入れます。 **19億円** (8億円)

##### <「安全・安心の岡山」の創造>

**II 安全で安心して暮らせる地域社会づくり** **431億円** (95億円)

▶だれもが安全で安心して暮らせるようにします。 **115億円** (9億円)

▶災害に強い社会づくりや危機管理体制の整備を進めます。 **287億円** (82億円)

▶地球温暖化防止対策を幅広く推進します。 **29億円** (4億円)

##### <「産業と交流の岡山」の創造>

**III 海外を視野に入れた産業の振興と交流の推進** **83億円** (10億円)

▶新産業の創出や中小企業の競争力の強化を図ります。 **61億円** (7億円)

▶農林水産物のブランド化など攻めの農政を推進します。 **18億円** (3億円)

▶観光資源の魅力向上等により誘客の促進等を図ります。 **4億円** (5千万円)

#### 【地方分権改革及び横断的政策の推進】

**IV 地方分権型行政システムの確立** **1千万円** (1千万円)

**V 団塊世代等だれもが活躍できる社会づくり** **5億円** (4千万円)

**VI 特色ある資源等を生かしたまちづくり・むらづくり** **110億円** (10億円)

**VII 情報発信と拠点性の向上** **65億円** (10億円)

**<計750億円>** (計140億円)

# 1 子どもを生み育てる環境づくりと人づくり



子育て家庭の不安を解消します。

37億円

## 拡充 安全で安心な妊娠・出産支援 事業 [1,128万円]

妊産婦に充実した医療・保健サービスを提供することにより、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを推進します。

### ◎妊婦にやさしい環境づくり事業

- ・月間の設定（年2回）とマタニティマークの周知

（マタニティマーク）



### ◎産科オープン病院の整備【新】

- ・妊婦健診は地域の産科医で受け、出産は産科オープン病院として県が選定した総合病院のできるシステムを整備

県北、県南に  
1か所ずつ  
整備します。

### ◎周産期医療体制の継続実施

- ・リスクのある妊婦が安全に出産できるよう、高度な医療が提供できる総合周産期母子医療センターの運営支援等

県東部は、国立病院機構  
岡山医療センター、県西  
部は、倉敷中央病院が総  
合周産期母子医療セン  
ターとなっています。

新規,【新】 ……H20年度の新規事業

拡充 ……H20年度に内容を拡充する事業

継続 ……継続して実施する事業

## 拡充 子育て応援事業 放課後子ども教室推進事業

[6億2,826万円]

地域、企業等との協働により、子どもを健やかに生み育てる環境の整備を促進します。

### ◎第3次岡山いきいき子どもプラン（仮称）の策定【新】

- ・期間はH22～26を予定

### ◎「ももっこカード」の普及促進や「おかやま子育て応援宣言企業」の登録推進

- ・「ももっこカード」の発行状況

H19 83,000枚 → H20 170,000枚

- ・「子育て応援宣言企業」の登録【新】

一定の要件を満たした企業への奨励金（10万円）の支給

### ◎ひとり親家庭支援センター（岡山総合福祉会館内）の設置【新】

- ・母子家庭の自立促進や父子家庭からの相談等に対応

### ◎地域子育て支援拠点やももっこ広場の設置促進

- ・子育て相談や親子の交流促進など

### ◎「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室」の設置促進原則として全ての小学校区において、地域の方々の参画を得て学校の余裕教室や公民館などで実施

H19 268か所 → H20 313か所



特典!!

- ・料金を割引してくれる。
  - ・ポイントを加算してくれる。
  - ・景品をプレゼントしてくれる。
- などのお店があります。

拡充 **発達障害児(者)総合支援事業** [3,302万円]

発達障害児の健全な発達を支援するため、早期発見・早期発達支援から各ライフステージにおける継続的な支援ができる体制を整備します。

◎子どもの心の診療拠点病院の整備【新】

◎発達障害者支援センター支所の新設【新】

・発達障害者やその家族を支援する発達障害者支援センターの支所を県北に設置

◎保育所における軽度発達障害児への支援力の強化

◎発達障害者支援体制の整備

・各ライフステージにおいて切れ目なく継続した支援ができる体制づくりを進め、支援コーディネーターの設置を支援



継続 乳幼児医療対策費……………義務教育就学前までの乳幼児の医療費の一部を負担します。  
(10億2,767万円)

継続 母子医療対策費 (2億896万円) ……小児の慢性疾患や未熟児等の医療費の一部を負担します。

継続 ひとり親家庭等福祉対策費……………ひとり親家庭等の医療費の一部を負担します。  
(2億98万円)

継続 特別保育事業費 (1億1,128万円) ……多様な保育需要に対応した事業に要する費用の一部を負担します。

**その他の子育て関連事業**



継続 児童保護費 (51億2,477万円) ……児童養護施設や障害児施設において、児童の保護、指導等を行います。

継続 児童手当費 (39億5,048万円) ……小学校6年生修了までの児童を養育する父母等に児童手当を支給します。

継続 児童保育費 (9億6,209万円) ……私立保育所の運営費の一部を負担します。

継続 児童扶養手当費 (3億4,290万円) ……父親がいない児童等を養育する母親等に児童扶養手当を支給します。



新規 岡山県学力向上アクションプラン

[1,734万円]

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、小・中・高等学校において学力向上施策の実施と検証を行います。

◎岡山県学力向上検討委員会の設置

◎小・中学校の授業改革の支援

- ・授業力のある教員を授業改革協力員として指定

国、算、数、英の科目で100人程度を委嘱します。

- ・小規模校に算数・数学アドバイザーとして教員OB (15人) を派遣

◎高等学校の授業力向上の支援

- ・大学教官、他県スーパーティーチャー等を招いて、教員による研究会の実施



新規 特別支援学校教育体制整備事業

[2億945万円]

特別支援学校の児童生徒数の増加や職業自立のニーズに対応するため、高等部単独の特別支援学校を岡山・倉敷地域に新設します。

(岡山地域)

場所 岡山高等技術専門校跡 (岡山市瀬戸町)

規模 120人 (1学年40人)

時期 H21年開校

(倉敷地域)

場所 倉敷市立第五福田小学校東校地 (倉敷市水島)

規模 72人 (1学年24人)

時期 H22年開校

高等部単独の特別支援学校は中四国初です。

拡充 確かな学力向上推進事業

[3億5,324万円]

学力の向上を図るため、指導体制の充実や教員の指導力の向上等に取り組みます。

◎小1グッドスタートの支援

- ・小学校1年生で1クラス30人以上の学級に教育支援員を配置

20週→26週に拡大します。

◎アクティブハイスクール支援

- ・学力向上と進路希望の実現に取り組む高等学校を支援

◎高校エキスパート活用事業

- ・専門的な技術を有する外部講師による授業の実施

拡充 教育相談体制等推進事業

[2億1,115万円]

不登校や問題行動へ適切に対処するため、子どもたちの悩みや不安を受け止める相談体制等の一層の充実を図ります。

◎心の専門家の派遣

- ・全県立高校 (56校) に臨床心理士などを派遣 **【新】**

◎スクールカウンセラーの配置

- ・臨床心理士などの専門家を全公立中学校、公立小学校 (10校) に配置 **【新】**

◎スクールサポーターの配置

- ・教員OBなどを小学校20校、中学校139校に配置

◎教育相談員の配置

- ・県青少年総合相談センター及び倉敷、高梁、津山教育相談室に教育相談員を配置し

悩みの相談へ対応



新たに、23時～翌朝8:30を加え24時間電話で相談を受け付けます。

◎不登校対策のための教員派遣 (中学校)



継続 誕生寺養護学校校舎整備事業 …………… プレハブで対応している肢体不自由棟の新築  
(6億1,927万円) …………… や既存建物の改築と併せて、施設全体の耐震  
化を行います。

新規 きめ細かな教育の充実事業 …………… 小中学校の少人数指導や特別支援学校におけ  
(4,091万円) …………… るセンター的機能の充実のために非常勤講師  
を配置します。

### その他の教育関連事業

継続 私学助成費 (79億4,894万円) …………… 私立学校の振興を図るための各種補助事業を  
行います。

継続 県立高等学校等管理運営費 …………… 県立中学校及び全日制・定時制・通信制の高  
(24億5,311万円) …………… 等学校、特別支援学校等の管理・運営を行  
います。

継続 県立高等学校等施設整備費 …………… 全日制・定時制・通信制の高等学校等の施設  
(9億7,452万円) …………… 整備を行います。

## II 安全で安心して暮らせる地域社会づくり



だれもが安全で安心して暮らせるようにします。

115億円

拡充

### 県民総ぐるみによる犯罪のない 安全・安心 岡山県づくり推進 事業 [1,349万円]

行政や地域団体、ボランティア、NPO、事業所などとの協働により、県民総ぐるみの安全・安心まちづくりを推進します。

- ◎情報紙「安全・安心通信（仮称）」の創刊【新】
  - ・年4回、1万部発行
- ◎県内一斉「犯罪ゼロの日」の実施【新】
  - ・毎月1回、第2金曜日を設定
- ◎大学生による自主活動団体の支援（10団体）【新】
- ◎自主活動団体の支援
  - ・H20までに県内全小学校区（430団体）の立ち上げ支援



継続

### 学校等における子どもの安全対 策等支援事業 [1億1,533万円]

通学路等における児童生徒の安全確保対策等を強化するため、引き続き、県下22警察署に26人の警察スクールサポーター（非常勤職員）を配置します。

- ◎青色回転灯を装備した専用車両（26台）を整備し、街頭活動等を強化・充実【新】



新規

### 医師確保総合対策事業

[1億605万円]

医師が不足している地域や診療科について、医師の緊急的な確保を図り、県民が、いつでも、どこに住んでいても安心して医療が受けられる体制を構築します。

- ◎医師派遣体制の構築
  - ・医師確保が困難な県北地域等の病院に県南の病院から医師を派遣
- ◎医学部地域枠医師養成緊急確保
  - ・県内の大学医学部に地域枠の入学定員を設定し、卒業後に県が定める地域や診療科に医師として配置する制度の創設
- ◎医師の再就職促進
  - ・出産や育児等により離職した女性医師等の再就職を促進
- ◎臨床研修医の県内定着
- ◎小児救急医療拠点病院整備
  - ・小児救急医療の確保が困難な地域において、広域で患者を受け入れる体制整備



新規

### 特定検診等医療費適正化推進 事業 [2億320万円]

医療保険者による特定健診・保健指導が20年度から始まりますが、その効果的な実施を支援し、県民の健康の保持増進を図り医療費の適正化を推進します。

- ◎後期高齢者医療広域連合が実施する健診等の保健事業の支援
- ◎市町村が実施する健康増進事業、国保組合が実施する特定健診や保健指導の支援
  - ・特定健診の成果に応じた支援とし、受診率向上の促進

**新規** 障害者就労促進・就業自立支援事業

[2,300万円]

障害者の地域生活と自立の促進を推進するため、一般就労を促進するとともに、授産施設等における工賃倍増計画を推進します。

◎工賃倍増の支援

・工賃倍増5か年計画に基づく、工賃水準の引き上げ。現状11,000円 → 34,000円（H23までに）

◎就労支援員の資質向上

◎岡山県障害福祉計画（第Ⅱ期計画）の策定



**継続** 重度心身障害者医療費特別措置費…重度心身障害者（児）の医療費の一部を負担します。

（10億4,075万円）

**継続** 交通安全施設整備費 ……歩道の整備や、交差点の改良を行い、交通事故から県民を守ります。

（13億5,000万円）

**継続** 緊急道路環境整備事業費 ……低騒音舗装や、バス停改良等を行い、安全で快適な道路及びその周辺の環境整備を行います。

（3億7,500万円）

**その他の医療・福祉関係事業**

**継続** 介護給付費負担金……介護の必要な人が、その状況に応じ必要な介護サービスを、住み慣れた家庭や地域で安心して安全に受けられるよう、介護給付等に必要な費用を負担します。

（180億1,168万円）

**新規** 後期高齢者医療費……後期高齢者医療制度の被保険者に係る医療給付や保険料軽減等の経費を負担します。

（167億1,670万円）

**継続** 国民健康保険費（121億3,154万円）……市町村が運営する国民健康保険制度の被保険者に係る医療給付や保険料軽減等の経費を負担します。

**継続** 自立支援給付費（35億1,195万円）……障害者及び障害児が能力及び適性に応じて、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な福祉サービスに係る給付などの支援を行います。

**継続** 特定疾患対策費（18億5,787万円）……難病患者の生活の質の向上を図るため、医療費の公費負担や在宅療養の支援等を行います。



新規 消防防災ヘリコプター整備事業

[18億1,634万円]

地震等の大規模災害時での被害状況の把握や孤立住民の救助など、消防防災活動で大きな役割を担うことができる消防防災ヘリコプターを導入して、防災力の一層の強化を図ります。



- ・山林火災の空中消火
- ・遭難事故の捜索・救助
- ・交通不便地域からの急患者の搬送
- ・地震、台風、豪雨時の応急活動などに活躍します。



おかやまの消防団  
マスコット「団吉」

継続 警察署耐震改修工事

[2億2,552万円]

平成25年度末を目途に、防災拠点（災害警備本部）となる警察署の耐震改修工事を実施します。

◎実施箇所 備前警察署

新規 防災・危機管理体制強化事業

[2,607万円]

自然災害や大規模事故などが発生したときに、直ちに応急対応ができるよう体制を強化します。

◎24時間即時対応体制

- ・夜間、休日に危機管理の要員を県庁集中配備室に常時配置

◎近隣待機体制

- ・県庁近隣での防災担当課管理職員の待機



新規 道路施設長寿命化対策事業

[8,800万円]

県管理の橋りょうの点検を実施し、適切な補修、補強を行うことにより、施設の長寿命化を図りながら、道路交通の安全・安心を確保します。

◎総点検橋りょう数 約1,100橋（H19～21）

◎補修等実施予定橋りょう数 27橋程度（H20～22）

（うちH20予定橋りょう数 7橋程度）



継続 学校施設等の耐震化

[27億6,460万円]

児童生徒等が一日の大半を過ごす学校や大勢の人が利用する社会教育施設の安全・安心の確保、また、災害発生時における地域防災拠点となる学校等の耐震化を進めています。

◎耐震補強工事 (25.4億円)

実施設計に基づき、建物の耐震性能を向上させる耐震補強工事を行います。

16校 (和気閑谷高、津山東高、岡山操山高、東岡山工業高、岡山御津高、岡山大安寺高、笠岡高、岡山盲、新見高、高梁城南高、林野高、井原高、笠岡商業高、水島工業高、津山工業高、岡山工業高)

◎耐震診断 (5,130万円)

地震により既存の建物に倒壊の恐れがあるかないかを調査・診断し、補強工事の必要性の判断や、工事が必要な場合の優先度を決めます。(18校)

◎実施設計 (1.7億円)

耐震診断により補強工事が必要とされた施設について、優先度が高いものから実施設計を行います。(15校・施設)

平成23年度までに耐震化率65%を目指します。

新規 県庁舎耐震・UD化等整備事業

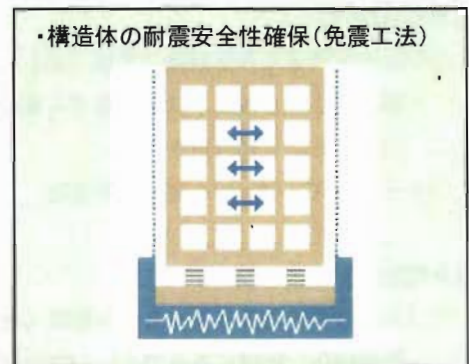
[1億1,976万円]

東南海・南海地震等の大規模地震に対応するため、防災拠点施設となる県庁舎の耐震化整備を実施し、総合的な防災力の基盤強化を図ります。

◎耐震改修工事の実施

- ・実施箇所 本庁舎 (本館) 面積A=19,940㎡
- ・実施期間 H20~23
- ・工 法 免震工法

※今後、議会棟など順次実施予定



省エネ化・省コスト化・UD化、バリアフリー化、緑化などにも配慮します。

継続 河川改修費 (36億8,500万円) ……

県管理の一級河川及び二級河川の堤防・護岸等の改良を行います。

継続 防災情報ネットワーク高度化事業 (30億9,767万円) ……

災害に強い高度な防災ネットワークを構築するとともに、総合防災情報システムにより防災情報を提供します。(平成21年3月整備完了予定)

継続 安全・安心おかやま地域防災力強化事業 (10億円) ……

安全・安心な地域づくりを実現するため、ハード面から災害に強い県土づくりを推進し、ソフト面でも県民の防災意識の醸成・定着を図ります。



拡充 ストップ温暖化！推進事業

[2,182万円]

産業部門、事業所部門、家庭部門など、あらゆる部門で温暖化防止に向けた施策を展開します。

【産業部門】

◎温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度【新】

- ・県独自で事業所ごとの公表制度を創設し、事業者による自主的な取組を促進

【事業所部門】

◎中小事業所省エネ診断補助事業【新】

- ・事業者が行う省エネ診断に要する費用の一部を補助（1件あたり10万円を上限）

◎クールビズ・ウォームビズ県民運動

【家庭部門】

◎「みんなでエコライフ」モデル事業【新】

- ・壁面緑化、地域ぐるみでのレジ袋削減などユニークな取組を支援（1団体あたり10万円を上限）

◎アースキーパーメンバーシップ推進事業

◎エコドライブ推進事業

岡山県の温室効果ガス排出量は、1990年度から2005年度の間、15.0%の伸びとなっています。

↓  
温暖化防止のため早急な取組が必要です！



拡充 環境学習協働推進事業

[1,229万円]

県民1人ひとりが地球温暖化を自らの問題ととらえ、身近なところでの取組が求められる中で、環境学習を総合的、効果的に進めます。

◎環境学習推進プログラム（仮称）の策定【新】

◎協働による環境学習推進事業

- ・NPO等との協働により環境学習を積極的に推進

◎環境学習出前講座の実施

移動環境学習車を導入し、出前講座など、地域で活躍します。



拡充 森林保全再生事業

[3億5,203万円]

森林のもつ水源かん養、県土の保全等の公益的機能を発揮させるとともに、京都議定書の森林CO<sub>2</sub>吸収目標達成のため、「適切な森林経営が行われる森林」の整備に努めます。

岡山県では、「適切な森林経営が行われる森林」の面積をH19～24年度の6年間に2万5千ha増加させることとしています。



継続 森林整備事業費（19億370万円）…

森林の有する公益的な機能を維持・増進するために、森林や林道の整備を促進します。

### III 海外を視野に入れた産業の振興と交流の推進



新産業の創出や中小企業の競争力の強化を図ります。

61億円

#### 拡充 「マイクロものづくり岡山」創成事業 [4億2,115万円]

県内の優れた精密生産技術の集積を活かしたものづくり産業の振興のため、企業の研究開発や販路拡大等を支援するとともに、「マイクロものづくり岡山ブランド戦略」に基づき重点的な育成に取り組みます。

◎航空機、自動車、高度医療機器、ロボットの4分野の重点的育成【新】

- ・航空機部品の販路拡大の支援



ジャパンエアロスペース  
2008 (パシフィコ横浜、  
10.1~5) に出展します。

- ・次世代自動車開発に関連する技術開発の支援
- ・産業用ロボットの開発支援
- ・医療現場のニーズを踏まえた県内企業の医療機器分野への参入支援

#### 拡充 グリーンバイオ・プロジェクト推進事業 [7,217万円]

再生可能な資源・エネルギーの活用を促進するため、バイオマスプラスチック製品の開発やバイオエタノール製造の事業化等を進めます。

◎バイオマスプラスチック利用促進事業

- ・小売業者と連携し、ニーズを踏まえた製品の開発促進

◎バイオエタノール事業化推進事業

- ・本格導入に向け、バイオマス原料集積基地整備を支援

◎次世代エネルギー産業推進事業【新】

- ・産学官連携の次世代エネルギー戦略会議の設置



次世代エネルギーシンポジウムも開催します。

#### 拡充 メディカルテクノバレー構想推進事業 [4,543万円]

本県医療の先進性を生かした医療産業集積を実現するため、メディカルベンチャー企業のネットワーク化、情報発信を進め、メディカルテクノバレー構想の実現を図ります。

◎グローバル・メディカルベンチャー拠点推進事業【新】

- ・岡山MTO内にメディカルベンチャー・ネット(仮称)を設け、情報発信の場を提供

◎メディカルテクノ研究推進事業

◎メディカルテクノおかやま推進事業



#### 新規 中国市場開拓瀬戸内連携事業 [604万円]

中国市場において、販路の新規開拓や拡大を行う県内企業を支援するため、瀬戸内海を共有の資源に持つ香川県など瀬戸内各県と連携して、県産品展示商談会等を開催します。

◎県産品展示商談会及び観光展の開催

◎想定される中国市場 大連市、上海市、香港など



継続 商工団体支援事業費 (21億2,453万円) …中小企業団体中央会や商工会・商工会議所等の活動を支援します。

継続 中小企業金融対策費 (4億2,951万円) …県の融資制度を受ける中小企業を支援するため、融資を取り扱う金融機関等に対し利子等を補助します。



# 農林水産物のブランド化など攻めの農政を推進します。18億円

## 拡充 農林水産物ブランド化推進事業

[3,089万円]

首都圏や海外において、岡山県が世界に誇る高品質なくだものなどを積極的に販売・PRし、販路拡大やブランド確立を進めます。

◎旬の果物等を販売する期間限定店舗「岡山屋」の設置

首都圏：銀座店、羽田店

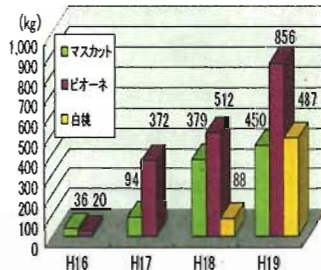
海外：バンコク店、台湾店、香港店

◎黒大豆枝豆やカキを首都圏でPR（岡山プロモーション）

◎海外市場調査及び安定輸送技術の研究



<銀座店>



<主な果実の輸出量の推移（全農扱い）>

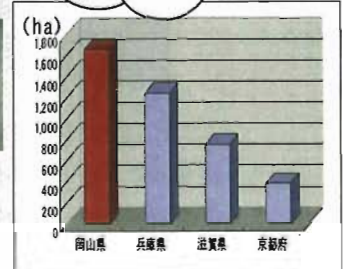
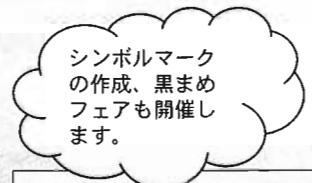
## 拡充 日本一の「おかやま黒まめ」ブランド強化事業

[1,090万円]

本県の黒大豆は、日本一の栽培面積、生産量を誇っていますが、新たな需要が期待される枝豆の生産を拡大し、シンボルマークの作成などにより、「おかやま黒まめ」のブランド化を図ります。



<おかやま黒まめ枝豆>



<黒大豆主産府県栽培面積>

## 拡充 くだもの王国おかやま確立

### 事業

[1億5,416万円]

「くだもの王国おかやま」をさらに多彩で個性豊かに発展させるため、白桃、マスカット、ピオーネを核に、次世代フルーツの生産の拡大や、未来のおかやまフルーツの原石となるような果実を調査、研究します。

◎おかやま次世代フルーツ



<おかやま夢白桃>



<オーロラブラック>

## 拡充 新規就農者等の確保・育成

[1,588万円]

意欲のある新規就農者や団塊世代の定年帰農者の方々に、就農相談会や農業体験研修を実施します。また、教育機関との連携のもと、次代を担う若い担い手に農業の魅力を伝えます。

◎社会人就農研修事業

◎定年帰農者等応援事業

◎農業大学校の魅力発信事業【新】

・高校生への実習体験等による魅力のPR

◎農業体験教育推進事業【新】

・小中学生の農業体験学習の推進







観光資源の魅力向上等により誘客の促進等を図ります。

4億円

**新規** 「吉備の国岡山」観光立県戦略  
(仮称) 策定事業 [497万円]

観光を重要な県の施策に位置づける「観光立県宣言」を行い、社会経済情勢の変化に対応し、戦略的に観光振興に取り組む指針として「吉備の国岡山」観光立県戦略(仮称)を策定します。



**新規** 「吉備の国岡山」情報発信事業 [821万円]

より多くの方に岡山県を訪れてもらうため、情報発信力の高いメディア(雑誌)や情報源としてニーズの高いインターネット等による効果的な情報発信を行います。

- ◎ペイド・パブリシティの実施
- ◎より利用しやすいホームページ(ポータルサイト)の構築
- ◎口コミによる情報発信
  - ・「観光岡山情報交換サロン」(仮称)の開催(東京、大阪)



**継続** 新世紀おかやま後楽園魅力づくり事業費(4,611万円)

…「幻想庭園」など後楽園の新たな魅力アップに向けた取り組みを実施します。

## IV 地方分権型行政システムの確立



道州制・中四国州の実現に向けた気運を醸成します。

1千万円

**継続** 道州制・中四国州構想推進事業

[1,252万円]

道州制の導入と中四国州の実現を目指して、積極的な情報発信などを行うとともに、道州制・中四国州構想の理解者・応援者となっていただく方との情報交換や意見交換等を行う連絡会を設置します。

- ◎シンポジウム、講演会の開催
- ◎中四国地域の調査研究
- ◎「中四国州倶楽部(仮称)」の設置



## V 団塊世代等だれもが活躍できる社会づくり



団塊の世代や若者等が活躍できる多様な機会を提供します。5億円

**拡充** シニアパワー等を活用したものづくり産業現場活性化推進事業 [1,897万円]

岡山県の産業が将来にわたって発展するよう、関係団体・機関等によるコンソーシアムを組織し、次代を担う人材の育成や、効果的な技術・技能の継承・習得などに取り組みます。

◎OB人材活用・作ってナットク!ものづくり体験強化事業 **【新】**

・県内の技術者OBなどを活用し、ものづくりに対する子どもたちの興味関心を高揚

◎中小企業を支える多様な人材育成事業 **【新】**

熟練技能者OBの方々の力は貴重です。



**新規** 地域若者サポートステーション連携事業 [906万円]

ニートと呼ばれる若年無業者等の就労を支援するため、地域若者サポートステーションと連携し、中学・高校での出張出前講座、専門相談員による自宅訪問支援及び体験型セミナー等を実施します。



**拡充** 団塊世代就労支援事業 [1,577万円]

就労を希望する団塊世代の求職登録や、団塊世代を活用しようとする企業とのマッチングを図るとともに、セカンドライフに関する相談や情報提供を行います。

◎団塊世代就職面接会の開催 **【新】**

◎団塊世代等に対するフォローアップ調査 **【新】**

**継続** 高年齢者等雇用対策費…………… 団塊の世代をはじめ、高齢者等の就職を促進します。

(6,208万円)

**継続** 若年労働者等雇用対策費…………… 若年者の就職促進を図るため、若者就職支援センターの運営、就職面接会の開催等やニート等の若者の自立支援を行います。

(8,694万円)

**継続** 職業訓練奨励費 (8,721万円) …… 経済的な理由により公共職業訓練を受講することが困難な障害者等に対し、訓練手当を支給します。

## VI 特色ある資源等を生かしたまちづくり・むらづくり



中山間地域等で夢が広がる地域づくりを進めます。 **110**億円

### 新規 中山間地域等特別支援事業

[10億円]

限界集落などの課題を有する中山間地域の活性化を図るため、ソフト・ハードの両面から、重点的・効果的に施策を推進します。

- ◎集落機能再編・強化事業
  - ・限界集落などが存在する地域を選定し、集落機能の再編・強化モデルを構築（9地域）
- ◎地域交通自立促進支援事業（限界集落特別対策）
  - ・限界集落において乗合タクシーなど地域に適した交通手段の導入を支援
- ◎中山間地域魅力づくり支援事業
  - ・市町村が実施する、地域の実情に応じた地域活性化の取組を支援（補助率2/3、限度額1,000万円）
- ◎中山間地域等生活・交流基盤整備推進事業
  - ・中山間地域等の生活道路の改良等の生活・交流基盤を整備

### 新規 おかやま農村里地サポート事業

[269万円]

高齢化の進行等により、農地や水路等の維持管理が困難となっている農村集落等を支援するため、農村の保全活動等に関心を持つ都市住民等の受入体制を整備します。



情報活動や支援活動の仲介を行うNPO法人等を「里地サポート組織」として選定します。

### 新規 “おかやま晴れの国ぐらし”

#### 魅力発信事業

[1,418万円]

県外、特に関西圏に居住する都市住民に対し、岡山県の魅力を発信し、交流・定住に結びつけ、中山間地域の活性化を図ります。

- ◎「交流・定住フェア（仮称）」の開催（関西圏）
- ◎交流・体験モデルツアーの実施
- ◎PR用映像ツールの制作

### 新規 元気お宝発掘支援事業

[997万円]

農産物直売所の個性・魅力を創出し、地域ならではの素材や資源を活用した加工品開発など、「元気お宝」を発掘し、育てる取組を支援します。

- ◎お宝候補の発掘・可能性の検討
- ◎元気お宝の開発・進化支援
  - ・加工品の企画開発、情報発信などを支援
  - ・地域自慢のお宝を作り上げるための本格的支援

農産物直売所は現在182か所、年間販売額は96億円であり、今後も地域活性化の拠点として注目されています。



### 継続 中山間地域等直接支払対策事業費…

(18億212万円)

中山間地域等の多目的な機能を維持するために、直接支払交付金を交付します。

## VII 情報発信と拠点性の向上



岡山からの情報発信を通じて拠点性を高めます。

65億円

### 新規 首都圏イメージアップ事業

[5,370万円]

岡山県の認知度・好感度を高めるため、首都圏において本県の魅力をアピールし、観光客誘致や農産物の販売促進、企業誘致等に結びつけるとともに、情報発信等を行う拠点のあり方について検討を行います。

- ◎ J R 山手線の広告電車
- ◎ J R 山手線主要駅でのポスター掲出
- ◎ 大型街頭ビジョンでのCM放映
- ◎ テレビでのCM放送、新聞広告の掲載
- ◎ 情報発信等を行う拠点のあり方についての調査



### 拡充 県立美術館ルネサンス事業

[9,129万円]

開館20周年の節目を美術館ルネサンスと位置づけ、記念事業を実施するとともに、国民文化祭に向けて、施設等のリニューアルや展覧会等事業の充実を図り、さらに親しまれる美術館を目指します。

- ◎ 記念シンポジウムの開催
- ◎ H20年度の展覧会予定
  - ・ 高木聖鶴展 (4月)
  - ・ 岡田新一の建築と県立美術館20年展 (4月～5月)
  - ・ 柚木沙弥郎展 (5月～6月)
  - ・ 千葉市美術館所蔵浮世絵名品展 (7月～8月)
  - ・ 五姓田派展 (10月～11月)



### 新規 コンベンション誘致・開催

#### “拠点力”強化事業費

[695万円]

国際会議や全国大会等の誘致・開催の拡大・促進に向けて、県を挙げて強力に推進し、中四国における本県の拠点性の更なる向上を図ります。

- ◎ 岡山県コンベンション誘致・開催推進協議会の設置

誘致を決定づけるキーパーソンへの働きかけにも取り組めます。



- ◎ 国際ミーティング・エキスポへの参加

(12月東京)

### 拡充 国民文化祭開催準備事業

[3,685万円]

平成22年秋に開催する国民文化祭に向け、市町村や文化団体等と連携して、事業計画の策定など準備を進めるとともに、県内外で積極的な広報活動を行います。

- ◎ 第25回国民文化祭・おかやま2010

会期：平成22年10月30日(土)

～11月7日(日) [9日間]

場所：岡山県内各地

テーマ：晴れの国おかやま 文化回廊

主催者：文化庁、岡山県、岡山県教育委員会、開催市町村、文化団体等

多種多様な文化の祭典が県内各地で行われます。



**拡充 全国都市緑化フェア開催事業**

[5億1,320万円]

<開催期間> 平成21年3月20日～5月24日(66日)

<会場> メイン会場 岡山市西大寺地区

サブ会場 岡山城・後楽園

<目標入場者数> 80万人



1年前祭を平成20年3月に開催します。

**新規 全国都市緑化祭推進事業**

[406万円]

全国都市緑化フェア開催期間中に予定されている全国都市緑化祭(2日間)の開催準備を行います。

**新規 全国都市緑化フェア関連交通安全施設整備事業 [1億3,759万円]**

全国都市緑化フェア会場周辺の渋滞緩和対策や、信号灯器のLED化など環境に配慮した取り組みを進めるとともに、交通安全施設のバリアフリー化を進めます。



**拡充 瀬戸大橋開通20周年記念事業**

[6,954万円]

開通20周年を記念して、さまざまなイベントを実施し、中四国の一体感を醸成し、岡山からの情報発信を図ります。

◎オープニングイベント(4月)

・香川県実行委員会、本四高速(株)と共同

◎健康マラソン、健康ジョギング、健康ウォーク

(橋上イベント、4月)

・香川県実行委員会と共同

◎瀬戸大橋スプリングイベント2008(4月・コンサート、ステージショー等)

◎瀬戸大橋開通20周年記念プレゼントキャンペーン(4月～10月)

・香川県実行委員会、本四高速(株)と共同



<5周年記念イベント(H5年4月11日)>

**継続 水島港国際物流機能強化事業費……** 水島港の国際競争力強化のため、荷主への補助やコンテナ荷さばき施設の整備を促進します。




(2,200万円)



# おokayama夢づくりカレンダー

20年度の県の  
主な行事を紹介  
します。



<p><b>4月</b> APRIL</p>	<p>ひとり親家庭支援センター 開所4/1</p> <p>後期高齢者医療制度施行4/1</p>	<p>春の観光 キャンペーン 3/22~6/30</p> <p>◆瀬戸大橋開通20周年記念事業(4月~10月) ◆瀬戸大橋マラソン・ジョギング 4/13</p> 
<p><b>5月</b> MAY</p>	<p>岡田新一と 県立美術館20年展 4/15~5/18</p> <p>後楽園 「春の宵待庭園」</p>	<p>◆障害者スポーツ大会 ◆防災啓発車活動開始 ◆消費者月間(消費者被害撲滅県民大会)</p>
<p><b>6月</b> JUNE</p>		
<p><b>7月</b> JULY</p>	<p>青少年健全育成強調月間 (7月、11月、3月)</p>	<p>◆おokayamもったいない晴れの国フォーラム 7/26</p>
<p><b>8月</b> AUGUST</p>	 <p>後楽園 「幻想庭園」</p> <p>首都圏での 岡山特産物PR (「岡山屋」設置)</p>	<p>◆岡山リサーチパーク一般公開 「おもしろ体験でえ〜」 7月末~8月頃</p> <p>◆第4回全国物理コンテスト 物理チャレンジ2008 8/3~8/6(倉敷市)</p>
<p><b>9月</b> SEPTEMBER</p>	<p>児島湖流域環境保全推進月間</p>	<p>◆交流・定住フェア ◆輝く長寿フェスタ2008 ◆新・エコメッセinおokayama 9月末~10月頃</p>
<p><b>10月</b> OCTOBER</p>	<p>安全・安心まちづくり旬間 10/11~20</p>	<p>◆動物愛護フェスティバル ◆車いすふれあいロードレース</p>
<p><b>11月</b> NOVEMBER</p>	<p>男女共同参画推進月間 ウイズフェスティバル2008</p> <p>第6回おokayama県民文化祭 (予定)</p>	<p>◆第50回中国・四国ブロック民俗芸能大会 11/9</p> <p>◆エコフェスタ2008 11/30</p>
<p><b>12月</b> DECEMBER</p>	<p>地球温暖化防止月間</p>	
<p><b>1月</b> JANUARY</p>		<p>◆井原線開業10周年記念 1/11</p>
<p><b>2月</b> FEBRUARY</p>		
<p><b>3月</b> MARCH</p>	<p>岡山県障害福祉計画(第II 期計画)策定</p> <p>防災情報ネットワーク高度化 事業完了</p> <p>県民局再編完了</p>	<p>「全国都市緑化おokayamaフェア」開催 3/20~5/24</p> 

岡山県予算のさらに  
詳しい内容は、県庁  
ホームページでご覧  
になれます。



お問い合わせ

岡山県総務部財政課

T E L

086-226-7231 (直通) , 086-224-2111 (代表)

F A X

086-221-6798

E - mail

zaisei@pref.okayama.lg.jp

U R L

<http://www.pref.okayama.jp/somu/zaisei/zaisei.htm>